

公共プールの再開手順

最新の更新：

2020/8/20：現時点では屋外プールのみが再開が許可されていることを明記しました（変更は黄色で強調表示）。

2020/9/2：水中ではフェイスカバーを着用する必要がないことを明記しました（変更は黄色で強調表示）

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、公共のスイミングプールを安全に再開するにあたり、カリフォルニアのロードマップにも準拠した 科学と公衆衛生の専門知識に基づく段階的アプローチを試みています。公共プールには、キャンプ場プール、クラブプール、商業プール、ヘルスクラブまたはフィットネスクラブ、ホテルのプール、認可されたデイケア施設のプール、医療施設プール、ミネラルスプリングプール、モータープール、市営プール、公立または私立学校のプール、レクリエーションまたはモバイルホームパークプール、リゾートプール、特殊用途プール、水泳スクールプールなどがあります。

ホットタブ・ジャグジー・スパプール、ウォーターパーク、遊園地内にあるスプラッシュパッドは、調整または全面稼働を再開できるまで引き続き閉鎖されます。

現在、屋外プールのみが再開を許可されています。

プールにあるウォータースライド、乗り物、その他のウォーターアトラクションは引き続き閉鎖されなければなりません。

住宅用スイミングプール（アパートのプール、ベッド・アンド・ブレイクファストインのプール、マンションのプール、住宅組合のプール）は、共有住宅施設のプールの再開手順に従う必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべてのプール運営者は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

注：本文書は、追加情報やリソースが入手され次第 更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> をアクセスして、本文書が更新されていないかご確認ください。

本チェックリストの内容

- (1) 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための対策
- (3) 感染防止対策
- (4) 従業員および市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべての企業は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、

対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

企業名:

施設住所:

投稿日:

A. 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践（施設に該当するものをすべて選択）

- 在宅勤務で職務を果たせる従業員には、在宅勤務が指示されている。
- 脆弱なスタッフ（65歳以上、慢性疾患のある人）には、可能な限り在宅勤務で行うことができる作業が割り当てられている。
- すべての従業員に、病気のときは出勤せず、該当する場合は公衆衛生局のガイダンスに従い自己隔離を行うよう指示している。
 - 訓練を受けた補填用従業員の名簿を作成する。
 - 従業員には、受給資格があれば経済的に自宅待機しやすくなる、雇用者または行政が提供する休暇給付金に関する情報が提供されている。[ファミリーファーストコロナウイルス対策法](#)に基づく従業員の病気休暇の権利、労災補償給付金における従業員の権利、および[州知事令 N-62-20](#)に基づく COVID-19 の労働関連の推定を含む、[COVID-19 における病気休暇および労災補償を支援する行政のプログラム](#)に関する追加情報を参照。
- 一名以上の従業員が COVID-19 検査で陽性反応を示す、または一貫する症状を発症している報告を受けた場合、雇用主は直ちに患者に自宅隔離を促し、その従業員に職場で曝露したすべての従業員に自己検疫を促す計画または手順を準備している。雇用主の計画では、追加の COVID-19 管理対策が必要となるような職場での曝露があったかどうかを判断するために、すべての検疫中の従業員に対して検査の実施、または検査の手配をする手順を検討する。
- 14 日間以内に職場内で 3 件以上の症例が確認された場合、オーナー、マネージャー、または運営者はこの発生を公衆衛生局 (888) 397-3993 または (213) 240-7821 に報告する。クラスターが現場で特定された場合、公衆衛生局は、クラスターへの対応を開始し、感染対策のガイダンスと推奨事項、技術サポート、およびサイト固有の対策を提供する。公衆衛生局のケースマネージャーがクラスターの調査として配属され、施設の対応を指導する。
- 従業員が職場に入る前に[職員に対する検査](#)が行われる。検査は咳、息切れ、呼吸困難、発熱や寒気に関する症状確認を含み、さらに 14 日間以内に COVID-19 に感染している人物と接触したかどうかを確認する。これらの検査は従業員の出勤時に直接、又は遠隔操作で行う。可能な場合は職場での検温も行う。
- 勤務中に他者と接触するすべての従業員に、無料で鼻と口を覆う布製フェイスカバーを提供する。勤務中に他者と接触する、または接触する可能性のある従業員は常時フェイスカバーを着用する。医療提供者からフェイスカバーを着用しないよう指示された従業員は、個人の状況が可能とする限り州の指示に準拠するよう、下部にドレープの付いたフェイスシールドを着用する。顎の下にぴったりと合うドレープが好まれる。一方向弁付きのマスクの着用は禁じられる。従業員がプライベートオフィスや、身長よりも高い仕切りのあるキュービクル内に一人である場合は、フェイスカバーの着用は必要ない。
- 従業員には、フェイスカバーを毎日洗濯、または交換するよう指示する。

- 従業員は、水の中に入っているときは、布製フェイスカバーを着用する必要はない。
 - 遊泳者の監視を行っているライフガードには、他者の手洗い、布製フェイスカバーの着用、または社会的距離確保の監視は要求されない。
 - 社会的距離措置の実施を監視する別の従業員をその担当に指名する。すべての従業員は、この従業員の職務を認識し、この人物への連絡方法を把握していなければならない。
 - 休憩室で、常に従業員の間で6フィートの距離を保てるよう、休憩時間をずらしている。
 - 常時マスクを正しく着用するために、指定された休憩室以外の職場での従業員の飲食を禁ずる。
 - 従業員が利用できる消毒剤および関連用品は以下の場所に常備している。
-
- 従業員が利用できる COVID-19 に対して効果的な手指消毒液は以下の場所に常備している。
-
- 従業員は手を洗うため、頻繁に休憩をとることが許可されている。
 - 各従業員に本手順のコピーを配布している。
 - オプション - その他の対策の説明：

B. 物理的距離を確保するための対策

- プール施設の使用を制限して、プール利用者が同居者以外の人から6フィートの物理的距離を確保、または最大占有率50%を維持する。
 - 現在のプール利用者収容人数: _____ 収容人数の50%: _____
 - プールの利用に予約制を実施することを検討する。これには、個人のラップスイミング用のフルレーンの予約、および個々の家庭用のハーフレーンの予約が含まれる。
 - ラップスイマーは、同居者以外の利用者から6フィートの物理的距離を保つように注意する。水泳者が安全な距離を確保できるように、特定の時間にラップスイミングにレーンを使用できる水泳者の数を制限する。
- 上記のように、指定された現場管理者または他の責任者が、プールサイドまたはプール内の利用者数が最大数を超えないように監視および確認する責任を持つことが推奨される。また、その担当者は、すべての暫定ガイドラインが遵守されているか毎日確認を行う。
- 社会的距離（同居者以外の人々から少なくとも6フィート離れる）を確保するための対策を実施する。
 - 州法で義務付けられているように、プールの周囲に4フィートのデッキスペースを確保しつつ、プールサイドのレイアウトを変更して、立ち見席および座席エリアでは、物理的距離が確保できるようにする。これには、椅子の除去や、使用を妨げるためのテープの貼付が含まれる。
 - 水中および水に入っていないときに、ゲストや水泳者が少なくとも互いから6フィート離れることができるように、物理的な目印やガイド（例えば、水中のレーンの線、またはプールサイドの椅子やテーブル）と視覚的な目印（例えば、プールサイド、床、または通路にテープを貼る）や標識を用意する。
 - ロッカールームで利用可能なロッカーを調整して、物理的距離を維持する。
- 更衣室とトイレは、適切な物理的距離を確保できるように、一度に中に入る人数を監視する。
- プールを含むすべての公共エリアでのパーティーや集会を禁止する。

- 可能であれば、水泳インストラクターはプールサイドから指導する。対面方式または濃厚接触を必要とするクラスでは、親または同一世帯の方が子供と一緒にプールに入ることが推奨される。プールサイドでのグループスイミングレッスンの参加者と観客の間隔は、6 フィートの距離を確保する。

C. 感染防止対策

- プールに訪れる訪問者は、施設内では常時（飲食時、または水の中にいる時を除く）フェイスカバーを着用することを促される。これは大人と2歳以上の子供すべてに適応する。医療提供者によってフェイスカバーを着用しないよう指示された個人のみ、フェイスカバーの着用を免除される。従業員と訪問者全ての安全を確認するため、フェイスカバーを持たない訪問者が利用できるフェイスカバーを用意する。
- 訪問者が施設に入る前に症状確認が行われる。この確認は、咳、息切れ、呼吸困難、発熱または寒気に対する検査を含む。これらの症状確認は直接、又はオンライン症状確認などの代替方法や、または施設の入り口に標識を置いてこれらの症状を持つ訪問者の入場を禁じる事を知らせる。
- プールの安全性チェックを実施して、プールの化学成分が消毒に適切な状態であり、プールの安全装置が検査されていることを確認する。
 - 適切なオペレーションとメンテナンスは水中のウイルスを不活化する。
 - プール施設を設計した会社または技術者に相談して、[EPAによって承認されたリスト N 消毒剤](#)のどれがプールに最適かを判断する。
- 稼働していない施設の場合は、再開する前に5分間温水器具と冷水器具を通水して、施設の配管内の古い水を新鮮で安全な給水に置換する。
- 頻繁に触れる物の表面と共有する備品を使用の度に、清掃と消毒する計画を実施する。EPA承認の消毒剤を使用する。定期的な清掃および消毒のスケジュールは以下の通り。
 - 手すりとスライド _____
 - ラウンジチェア、テーブル _____
 - ドアノブおよびトイレ、手洗いステーション、おむつ交換ステーション、シャワーの表面 _____
 - キックボードとプールヌードル _____
 - 共用施設 (ロッカーなど) _____
 - トイレとシャワー _____
 - その他 _____
- 公衆衛生をサポートするために十分な衛生用品を確保する。衛生用品には、石鹼、アルコール濃度60%以上の手指消毒剤、ペーパータオル、ティッシュ、およびゴミ箱が含まれる。
- 掃除や消毒が必要な家具（例：ラウンジチェア）やその他の共有アイテムが、既に洗浄・消毒された家具やその他の共有アイテムとは別に保管されるようにシステムを設定する。
 - 使用前に、共有の家具、機器、タオルの汚染防止を強化する。
- 水飲み場はカバーをかけ使用できないようにしている。

- プール利用者が物を共有しないようにする。特に、掃除や消毒が困難な物、または顔に触れる物（ゴーグル、ノーズクリップ、シュノーケルなど）の共有を避ける。
- キックボード、プールヌードル、その他の浮遊用具など、プール利用者に適した設備が施設にあることを確認し、可能な限りその共有を最小限に抑える。一度に一名の利用者に使用を制限し、使用するたびに洗浄・消毒する。
- 各自、自分のタオルをプールに持参し、家族以外の人とタオルを共有しない。
- 製造元の指示に従ってタオルを洗濯する。最も適切な水温を使用し、完全に乾燥させる。
- 屋内スペースの換気システムが適切に作動していることを確認する。可能な限り、換気を最大限に高める。
 - ポータブル高効率空気清浄機の設置、建物のエアフィルターの最大設定、および外気の量の増加、オフィスや他のスペースの換気を増やすためのその他の変更を加えることを検討する。

D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- 本手順のコピーを、施設のすべての公共の入口に掲示している。
- プール施設の各公共の入り口に標識を掲示し、プール利用者に以下を通告している。
 - 病気の場合、または COVID-19 と一致する症状がある場合は外出しない。
 - 同一世帯ではない人から 6 フィートの社会的距離を可能な限り維持し、プール内で不必要な身体的接触を行わないようにする。
 - プール施設に入る際に手を洗う、または消毒剤を使用する。
 - プールや共有トイレとの行き来を含め、施設の公共エリアを移動する際に、フェイスカバーを着用する。水に入る際には、水泳者に布製フェイスカバーを取り除くよう促す。

E. 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

- 顧客・居住者にとって重要なサービスを優先している。
- 移動が制限されている、または公共スペースにいて病気になるリスクが高い方のためサービスへのアクセスを保証するための対策を講じている。

社会的距離措置および施設や物の表面の消毒手順に関するアメリカ疾病予防管理センターのガイダンスは、<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/water.html> をご覧ください。